

第1回置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

【日時及び場所】

日 時 令和4年6月20日（月） 10時～11時30分

場 所 米沢市役所 庁議室

【出席者】

委 員 尾形健明委員、戸屋利枝子委員、清野雅好委員、小関洋子委員、
鈴木正弘委員、柴田正孝委員、小泉玲子委員、遠藤央子委員、
中井 晃委員、鈴木和他委員、宮原博通委員、菅井厚委員、
高橋和衛委員、吉田博之委員（松田圭悟委員、佐藤さく委員、
米野齊巳委員 欠席）

オブザーバー

置賜総合支庁総務課連携支援室長補佐、長井市総合政策課補佐、
南陽市みらい戦略課長補佐、高畠町企画財政課長、
川西町まちづくり課長、白鷹町企画政策課長、
飯豊町企画課長

事務局 米沢市企画調整部長、政策企画課長、政策企画課長補佐、
政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、
置賜広域行政事務組合事務局次長兼総務課長、総務課長補佐、
総務課企画財政係長、総務課企画財政係主任

米沢市担当課

地域振興課長、高齢福祉課長、観光課長、農政課長

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - （1）令和3年度の取組について
 - （2）置賜定住自立圏共生ビジョンの改定（案）について
 - （3）会議等の開催（案）について
- 4 その他
- 5 閉会

【議事録（要点筆記）】

2 会長あいさつ

少子化に歯止めがかからない時代になっており、この懇談会のような会議が重要になる。各自治体で取り組むというより置賜3市5町が一緒になって、課題解決に向けて取り組んでいければ良いと思う。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

3 議事

- （1）令和3年度の取組について

事務局 資料1－1、資料1－2に基づき説明。

- 会 長 今の説明に対して質問、意見があればいただきたい。
- 委 員 資料１－１（３）広域観光の推進で、各市町が連携した観光商品開発を行ったとあるが、実際の成果と連携した結果の課題を教えてください。
- オブザー 実際の成果は手元に資料がないが、各市町で体験型の企画などを提案し、やまがたアルカディア観光局で取りまとめて様々な発信を行った。詳しい内容は別の機会で示したい。
- 会 長 後ほどデータなどを委員に提示いただきたい。
- 委 員 資料１－１（２）米沢牛の振興で、米沢牛定義変更とあるが、農家にとって経費がかかる話だ。生産者から何もなかったか。飼料も高騰しているので、どのような経緯で１か月延びたか教えてください。
- 担当課 特産松坂牛と米沢牛だけが未經産の雌牛で、長期肥育の３２か月齢以上となっているが、様々な地域でブランド牛が出てきており、米沢牛の更なる銘柄向上のため、昨年の米沢牛銘柄推進協議会総会で１か月延ばすことを仮決定した。生産者からは経費がかかり増しするし病気等のリスクも高まることや、果たして市場価格が上がるかという声もあったが、ブランド力を高め米沢牛の振興を図るため３３か月以上に仮決定した。
- 委 員 リスクもあり難しい面もあると思うが、市場のルールならやむを得ない。
- 委 員 資料１－１（３）広域観光の推進で、観光アプリ「たまぷり」などを使ってデータ収集や分析を行うため環境整備をしたとあるが、観光客の動態を知ることが重要なので、定期的にデータを公表いただきたい。
- 担当課 観光アプリ「たまぷり」を登録している方が２,０３９人いる。アプリの内容は観光スポットやイベント、街歩きのガイド紹介などがあり、道の駅米沢のクーポンとも連携している。登録者はまだ少ないと思っており、今後は県と連携しながら拡大したい。将来的にはDMOで観光客の属性等を分析する事業も進めているので、「たまぷり」とも連携し、活用したい。
- 委 員 資料１－１（３）広域観光の推進で、現状が分からない中、広域観光を捉えていないか。広域とは置賜圏域内なのか、県内なのか教えてください。
- 担当課 広域観光の範囲は、この会議では置賜地域だ。米沢市で言えば置賜地域との連携は必須で、福島市や会津地方などの域外広域もある。「たまぷり」は現在置賜地域だけだが、今後は県や近県との連携も視野に入れながら進めたい。
- 委 員 道の駅米沢に訪れているのは県外の観光客がほとんどだ。そこから置賜地域に観光するか、隣県に行ってしまうかは大きな問題だ。観光プロモーションにも通ずるので、データに基づき効果が出るような内容となるよう検討をお願いしたい。

（２）置賜定住自立圏共生ビジョンの改定（案）について

- 事務局 資料２－１、資料２－２に基づき説明。
- 会 長 今の説明に対して質問、意見があればいただきたい。
- 委 員 資料２－２圏域内図書館の連携で、各市町の図書館間の相互貸借を継続することは良いと思うが、図書情報が事前に閲覧できなければ意味がないので、利便性向上のため、システム統合化は議論になっていないか。
- 事務局 確認できていないが、ICT化やオンライン申請を進めることは重要だと思うので担当課に確認したい。

- 委 員 資料２－１（４）圏域内水道の広域連携等の検討で、事業費がないが事業を進められるか。
- 事務局 県が主催している検討会で各自治体が協議してきたが、今後は置賜定住自立圏の枠組みの中で、米沢市の上下水道部が中心となり協議を進める。今は検討段階のため、事業費を見込まず進めていく。
- 委 員 資料２－２移住・定住・交流等の推進で、移住交流促進事業と地域おこし協力隊交流事業は、予算がついていないが事業をやっていないか。
- 事務局 各自治体でそれぞれ予算を計上し実施している。
- 委 員 資料２－２定住自立圏共生ビジョンの目的に、この改定案が対応していないのではないか。資料にある事業の具体的な取組は、令和元年度時点で目指す内容なので、令和４年度の現状や課題、その解決策などがなければ議論しても功を奏しない。令和５年度まで解決すべき課題について話し合わなければ、ビジョンの達成にたどり着かないのではないか。
- 事務局 共生ビジョンは令和５年度までの計画となっており、ビジョン策定時より広域観光や米沢牛の振興の面で３市５町の結び付きは強くなっていると感じている。ただ、対外的にそういった効果が見えづらく、資料で示せていなかった。ご意見を踏まえ、３市５町一体となり広域連携を図って進めたい。
- 会 長 ３市５町の連携をとりながら事業が展開していることは感じるが、数値化できれば分かりやすいと思う。
- 事務局 今年度から令和６年度以降の次期に向けたビジョンの策定に着手したいと思っている。その際は検証し、その内容を踏まえ、次期に向けたビジョンを立てる訳なので、資料を示してご意見をいただきたい。
- 委 員 数値だけには表れない成果、評価も示してもらいたい。次期計画では圏域内図書館で、各市町の図書館にある郷土資料をデータで閲覧できるような仕組みづくりはできないか。
- 事務局 進捗状況等は KPI に基づいた数値が分かりやすい部分があるが、数値では見えない部分は担当部署にどのような効果があったかなど確認したい。図書館の郷土資料はデジタル化を国でも進めている。費用対効果の面でどの位の効果があるかも含めて確認したい。

（３）会議等の開催（案）について

- 事務局 資料３に基づき説明。
- 会 長 今の説明に対して質問、意見があればいただきたい。

特に意見等はなし